

る生き物



もともと照間の田んぼにはいなかったのに、人の手で他の地域より意図的あるいは偶然に持ち込まれ、照間に定着した生き物がいます。それを^{がいらいしゅ}外来種または^{がいらいせいぶつ}外来生物といいます。

照間ではミシシippアカミミガメやスッポン、グッピーなどの外来種が確認されています。それらの生き物は、昼間の活動が頻繁にみられ、もともといる生き物をおびやかしています。

私が子どものころは、ため池にカメはいなかったけれど、最近をよくみかけるねえ。



ビーグ農家の照屋さん

資料館のとりくみ

うるま市教育委員会では、2012～2015年の景観調査活用事業として、照間地域の田んぼやため池などに棲む生き物を調査しました。

その調査では、無農薬によるビーグの栽培が豊かな自然を育てていることや、ため池を通して生き物がくらしていることなどがわかってきました。

そこで、海の文化資料館では、これらの調査でわかった小動物を、収集・保管し、その資料をもとに教育普及活動をしています。



田んぼ歩きの3カ条



かならず、大人の人と一緒に歩きましょう！
子どもだけでは絶対に田んぼやため池へ行ってはいけません！



あぜ道は崩れやすく危険です！ 走ったり、崩れたりしないように気を付けましょう！
あぜ道は、農家にとって欠かせない道です。農家の方の迷惑になることはやめましょう！



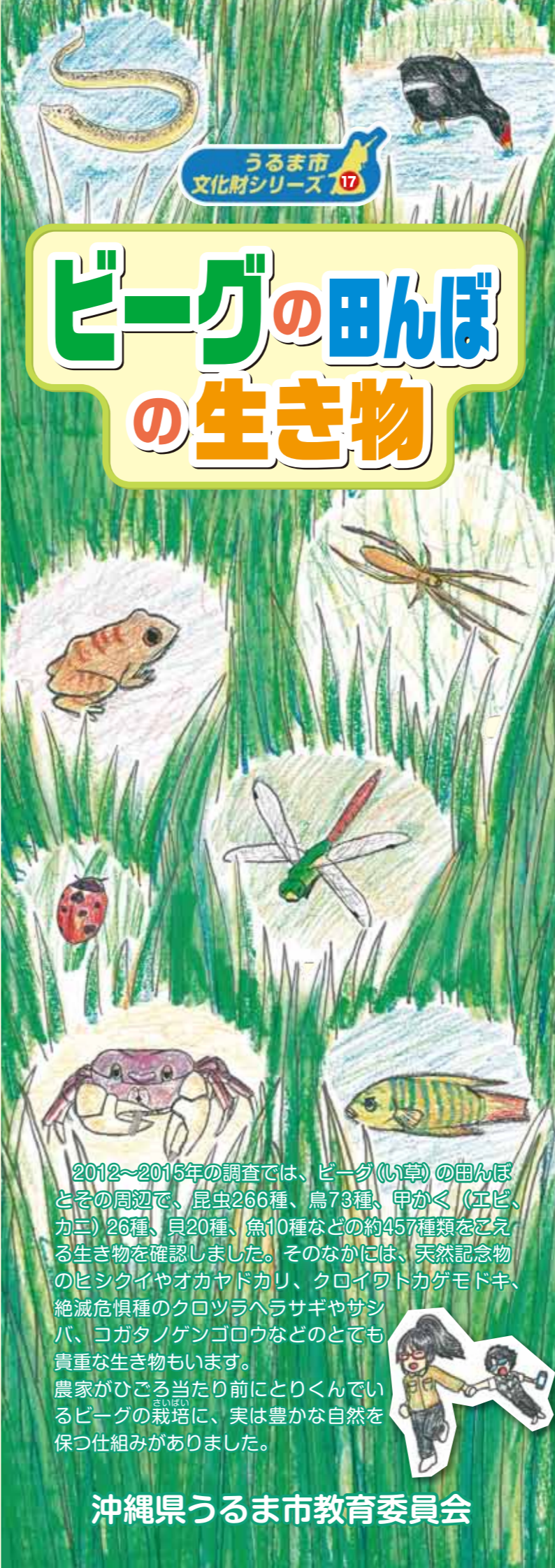
生き物を持ちかえらない、持ち込まない！！
ペットショップで買った生き物が大きくなりすぎたり、家で飼うことができなくなると、近くの川や池などに捨てる人がいます。生き物の原産地と違う場所へ逃がすことはやめましょう。

うるま市立海の文化資料館

〒904-2427 沖縄県うるま市与那城屋平4番地2階
TEL: 098-978-8831 FAX: 098-978-8841

うるま市文化財シリーズ 17

ビーグの田んぼの生き物

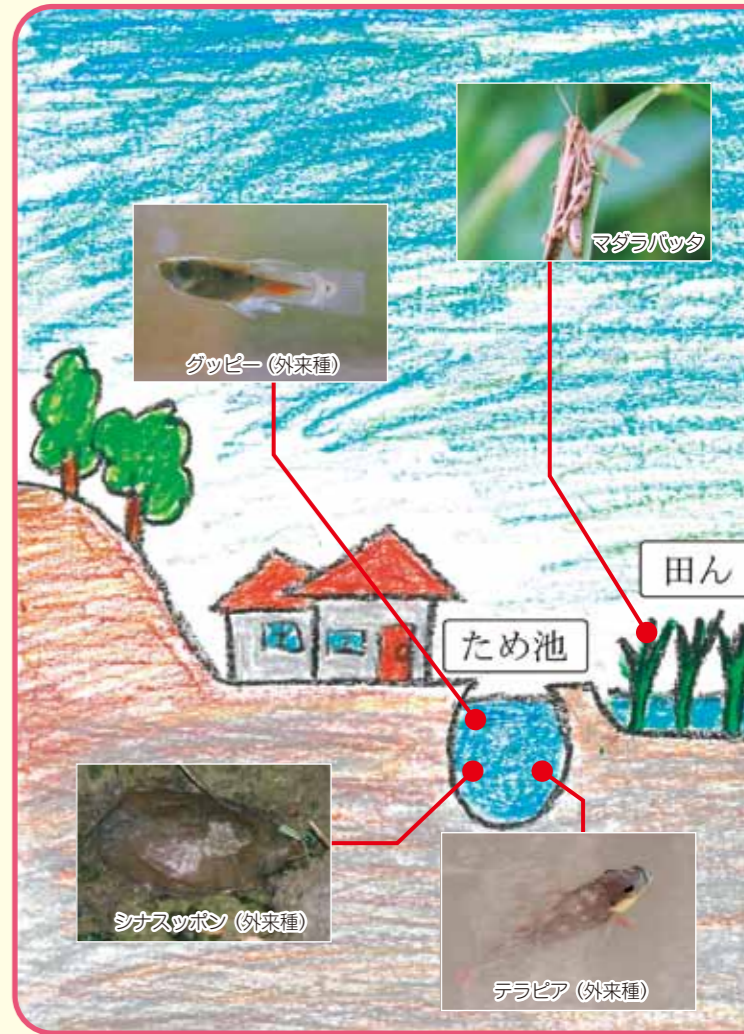


2012～2015年の調査では、ビーグ(い草)の田んぼとその周辺で、昆虫266種、鳥73種、甲かく(エビ、カニ)26種、貝20種、魚10種などの約457種類をこえる生き物を確認しました。そのなかには、天然記念物のヒシクイやオカヤドカリ、クロイワトカゲモドキ、絶滅危惧種のクロツラヘラサギやサシバ、コガタノゲンゴロウなどのとても貴重な生き物もいます。
農家がひごる当たり前にとりくんでいるビーグの栽培に、実は豊かな自然を保つ仕組みがありました。



沖縄県うるま市教育委員会

昼に見られ



照間の田んぼにはビーグを食べるバッタやイナゴがいます。また、それを食べるクモやトンボ、鳥たちもいます。そのため、農薬を使わなくても良いビーグが育ちます。このように、自然界において、食うものと食われるものとのひとつながりの関係を^{しょくもつれんさ}食物連鎖といいます。

農家の手によって育まれた田んぼは、多くの生き物にとって豊かな自然の環境をもたらしています。



防風林は す 生き物の棲みか

照間の道路の海側に海からの強い風を防ぐ、防風林があります。

その防風林のなかには、テントウムシやゾウリムシなどの虫がいます。夜間には、ミナミオカガニなどの活動もみられます。

防風林に棲む虫などは、他の生き物のエサとなります。そのため、照間に多くの生き物が集まってきます。



オキナワキボシカミキリ



アフリカマイマイ (外来種)



シロガ

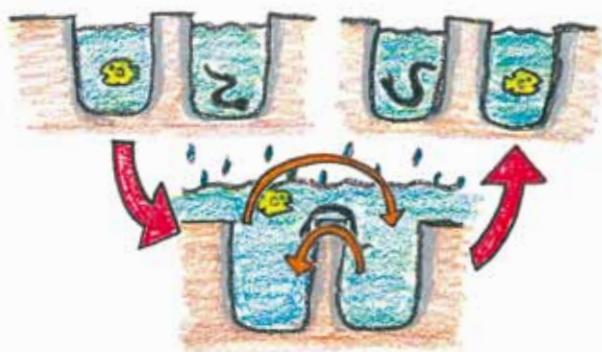


ビロードコガネ

ため池の不思議

田んぼの周りにあるため池は、一つ一つ棲んでいる生き物の組み合わせが違います。しかし、大雨や台風のあとにため池をみると、昨日までため池にいた生き物がいなくなったり、別のため池にいたりします。

これは、生き物たちが少しでもいい環境に移動し生き残るために、大雨で溢れた水を伝って移動するからです。



リンちゃん

生き物が自然界から一匹のこらずいなくなってしまうことを**絶滅**するといいます。

そして、もう少しで絶滅してしまうほど数が少なくなっている生き物を「**絶滅危惧種**」と呼びます。

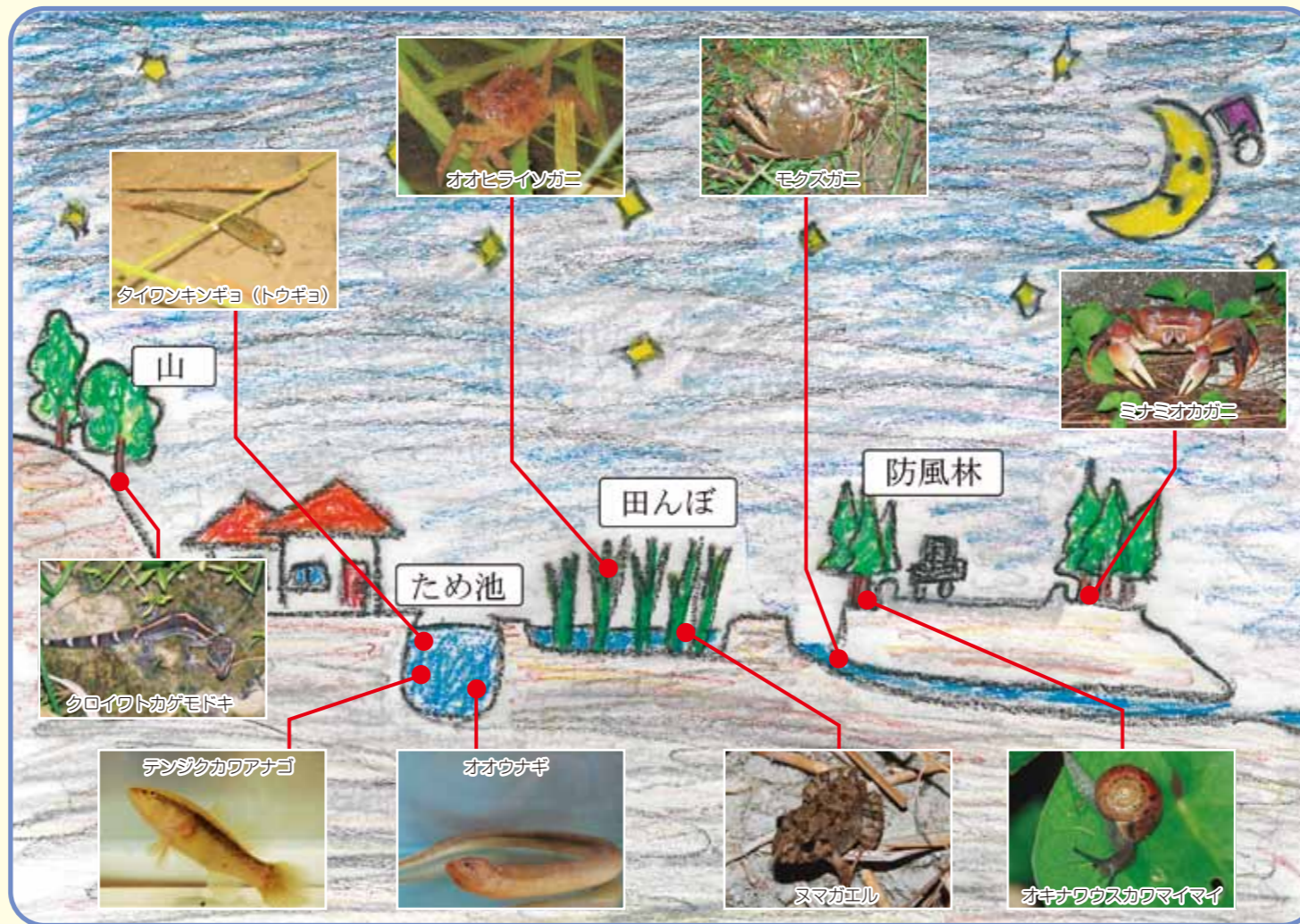
固有種・・・

その地域だけにしかない生き物のことです。

天然記念物・・・

世界の自然のなかで、または国の自然のなかで、価値がとりわけ高いものを天然記念物といいます。そこに棲む生き物をつかまえたり、場所などをあらしめたりしてはいけません。(日本では「文化財保護法」で天然記念物を定めています。)

夜に見られる生き物

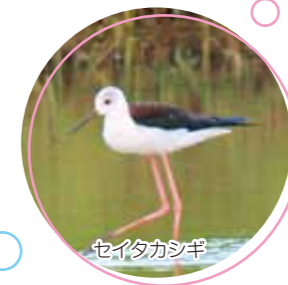


照間にもともといる生き物は、夜間の活動が頻りにみられます。場所は主に田んぼやため池などです。そのなかには、**絶滅危惧種**に指定されている生き物もいます。しかし、その生き物の数は私たちの生活や外来種の影響で減りつつあります。

私たちが普段見ることのない夜間の田んぼやため池には、とても珍しい固有種がいるのです。

渡り鳥の休憩所

照間では秋から春にかけて、シギやサギなどの渡り鳥をみることができます。田んぼや防風林、干潟には鳥たちがエサにしている虫や魚などが多くいます。ビーグの田んぼや防風林、干潟は渡り鳥にとって、とても貴重な場所となっています。



セイタカシギ



チュウタイギギ



ハシビロガモ

クモの楽園



ナガマルコガネグモ



ヒカリアシナガモ



オオシロウグモ

田んぼでは、ビーグの間に張られたクモの巣をみかけることがあります。それはビーグを食べに来たバツヤやイナゴを狙って、ヒカリアシナガモやナガマルコガネグモなどが巣をはっているからです。

クモの巣がある田んぼは、良いビーグが収穫できると村で言い伝えられています。

このような光景は、ビーグの農家にとってとても大切な現象です。